

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成23年11月4日

上場会社名 株式会社エー・アンド・デイ 上場取引所 東
 コード番号 7745 URL <http://www.aandd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 古川 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 貞雄 (TEL) (048) 593-1111
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,904	△2.9	△59	-	△379	-	△491	-
23年3月期第2四半期	14,315	14.7	△240	-	△460	-	△590	-

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,141百万円 (-%) 23年3月期第2四半期 △1,130百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△24 35	-
23年3月期第2四半期	△29 34	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,412	10,998	30.1
23年3月期	37,460	12,248	32.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,968百万円 23年3月期 12,215百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	30,200	△1.5	1,000	80.3	500	69.8	230	△57.2	11	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	22,435,500株	23年3月期	22,331,500株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,213,184株	23年3月期	2,213,184株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	20,178,223株	23年3月期2Q	20,118,377株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期の業績予想を、本日別途公表しております「業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」により修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断や電力供給不足による生産活動の低下、消費活動に対する自粛ムード、政治の混迷等により、先行き不透明な状況となりました。海外におきましては、新興国の著しい経済成長を背景に順調な面がある一方、ギリシャの財政危機、米国経済の停滞等により、一層の円高や株安が起きました。

このような状況の中、当社グループでは、既存市場の深耕拡大に努めるとともに、新市場の開拓や新規顧客の獲得に注力し、また、市場ニーズの変化に対応した新技術・新製品の開発を積極的に推進してまいりました。経費面では、製造原価の低減に努めるとともに、研究開発費を含む経費削減に取り組んでまいりました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は13,904百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失は59百万円（前年同期は営業損失240百万円）、経常損失は379百万円（前年同期は経常損失460百万円）、四半期純損失は491百万円（前年同期は四半期純損失590百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①計測・計量機器事業

日本における計量機器事業は、東日本大震災の影響により設備投資の延期や中止が想定されましたが、ロードセル、電子天秤及び台秤の売上はそれぞれ好調に推移しました。また、輸出はインジケータを中心に好調な売上となりました。計測機器事業は、節電対策の影響から温湿度計や熱中症指数計が好調で大幅に売上を伸張しております。また、試験機は汎用試験機に加え物性試験機等にも回復が見られ堅調な推移となりました。計測・制御・シミュレーションシステム（DSPシステム）は、震災後、自動車メーカーを中心に設備発注の延期・見直し等があり、低調な推移となりました。

米州における計量機器事業は、電子天秤がジュエリー・ゴールド関連市場向けに好調を維持しており、また、医薬品関連市場も好調が続いております。計測機器事業は、DSPシステムは日本と同様に設備発注の延期が見られ低調な推移となりましたが、新市場の開拓や新規顧客の獲得に努めてまいります。

欧州における計量機器事業は、英国、ロシアを中心に堅調に推移しております。今後も新市場の開拓を推進し販路拡大を図ってまいります。

アジア・オセアニアにおける計量機器事業は、国内景気の回復に伴う需要増もあり急速に改善してまいりました。韓国では高精度計量センサー等を中心に計量機器全般が好調を維持しております。また、インド市場では、ジュエリー市場向け電子天秤を中心に売上は好調に推移しております。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は8,154百万円（前年同期比1.2%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失430百万円）となりました。

②医療・健康機器事業

日本における医療機器事業は、メディカル計量器及び携帯型血圧計の売上が好調に推移し、検定付きバリアフリースケールや全自動血圧計の新製品TM-2656シリーズにつきましても好調な販売となりました。健康機器事業は、調剤薬局向けは堅調な売上となりましたが、大口契約終了等の影響もあり低調な推移となりました。

米州における健康機器事業は、カナダ向け家庭用血圧計の回復遅れやテレメディシン向け血圧計の一部で出荷の延期があったものの、大手流通向けやVeterans Association（退役軍人協会）向けが好調だったことから底堅い推移となりました。

欧州における健康機器事業は、当社の主要マーケットであるロシアにつきましても、現地通貨ベースでの売上は堅調に推移したものの、円高の影響等から円ベースでの売上は前年同期を下回る結果となりました。また、英国では主力のテレメディシン向け血圧計・体重計の出荷が減少したことから低調な結果となりました。

アジア・オセアニアにおける医療機器事業は、中国及び韓国は携帯型血圧計や全自動血圧計を中心に堅調な推移となりました。健康機器事業は、中国、韓国及びオーストラリアで新市場・新規顧客の開拓に注力し、販売は好調に推移しました。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は5,750百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益は509百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は36,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,047百万円減少いたしました。これは現金及び預金が165百万円、たな卸資産が346百万円増加した一方、受取手形及び売掛金の減少1,375百万円などの結果流動資産が392百万円減少したことのほか、減価償却などにより有形固定資産が231百万円、無形固定資産が333百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は25,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円増加いたしました。これは未払法人税等が72百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が120百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が133百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は10,998百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,249百万円減少いたしました。これは利益剰余金が632百万円減少したこと、為替換算調整勘定が640百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、円高の影響などから、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途公表しております「業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社では税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,421	4,587
受取手形及び売掛金	8,837	7,461
有価証券	0	0
商品及び製品	5,020	5,037
仕掛品	3,549	3,724
原材料及び貯蔵品	2,364	2,520
繰延税金資産	596	563
その他	953	1,359
貸倒引当金	△322	△224
流動資産合計	25,421	25,029
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,728	3,713
その他	4,078	3,863
有形固定資産合計	7,807	7,576
無形固定資産		
のれん	793	700
その他	2,238	1,998
無形固定資産合計	3,031	2,698
投資その他の資産	1,198	1,108
固定資産合計	12,038	11,383
資産合計	37,460	36,412
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,464	2,585
短期借入金	14,604	14,683
1年内返済予定の長期借入金	1,257	1,390
未払法人税等	147	74
賞与引当金	546	509
製品保証引当金	126	114
その他	2,016	2,004
流動負債合計	21,162	21,361
固定負債		
長期借入金	2,144	2,176
退職給付引当金	1,425	1,393
製品保証引当金	18	15
その他	461	467
固定負債合計	4,049	4,052
負債合計	25,211	25,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,372	6,388
資本剰余金	6,388	6,404
利益剰余金	2,928	2,296
自己株式	△1,565	△1,565
株主資本合計	14,123	13,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△7
為替換算調整勘定	△1,907	△2,547
その他の包括利益累計額合計	△1,907	△2,555
少数株主持分	32	30
純資産合計	12,248	10,998
負債純資産合計	37,460	36,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	14,315	13,904
売上原価	7,835	7,386
売上総利益	6,480	6,517
販売費及び一般管理費	6,721	6,577
営業損失(△)	△240	△59
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	0	4
持分法による投資利益	—	1
助成金収入	19	6
その他	50	20
営業外収益合計	79	40
営業外費用		
支払利息	146	149
持分法による投資損失	23	—
為替差損	82	161
その他	47	49
営業外費用合計	299	360
経常損失(△)	△460	△379
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	5	5
投資有価証券評価損	14	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
災害による損失	—	12
特別損失合計	41	22
税金等調整前四半期純損失(△)	△499	△401
法人税、住民税及び事業税	110	51
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△13	—
法人税等調整額	△11	35
法人税等合計	86	87
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△585	△488
少数株主利益	4	2
四半期純損失(△)	△590	△491

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△585	△488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△7
為替換算調整勘定	△531	△642
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	△545	△652
四半期包括利益	△1,130	△1,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,130	△1,138
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,407	1,487	271	887	8,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	795	25	—	909	1,730
計	6,203	1,512	271	1,797	9,784
セグメント利益又は損失(△)	△463	△23	△2	59	△430

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,910	1,313	2,804	234	6,261	—	14,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,239	1	0	2,522	5,763	△7,494	—
計	5,149	1,314	2,804	2,756	12,025	△7,494	14,315
セグメント利益又は損失(△)	719	△55	204	73	941	△751	△240

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△751百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△606百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,675	1,175	305	997	8,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	823	24	—	946	1,795
計	6,499	1,200	305	1,944	9,949
セグメント利益又は損失（△）	28	△72	△21	58	△7

	医療・健康機器事業					調整額 （注1）	四半期連結 損益計算書 計上額 （注2）
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,722	1,234	2,547	246	5,750	—	13,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,371	1	0	1,856	4,230	△6,025	—
計	4,093	1,236	2,547	2,102	9,981	△6,025	13,904
セグメント利益又は損失（△）	366	△26	129	40	509	△561	△59

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△561百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△598百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。